

JR 室蘭線 駅舎めぐり

公共交通



出かけよう!

第8便

JR 北海道が単独維持困難とする室蘭線（沼ノ端～岩見沢）は、明治 25 年に開業し、長い間、地域の人々の暮らしと密接に関わりながら、今日まで歴史を刻んできました。市は、国や道、苫小牧市、安平町、由仁町、栗山町と連携して、室蘭線の維持・存続に向けた協議を進めています。

今月号は、知っているようで知らない、栗山から苫小牧までの室蘭線の各駅舎を中心に、人々の暮らしの中に息づく鉄路を紹介します。問合先 市企画室



栗山駅



栗夢プラザ

栗山駅には、町の芸術や文化、コミュニティ活動の拠点であるカルチャープラザ Eki が併設され、さまざまな楽しいイベントが催されており、まちの憩いの場として大切にされています。駅から歩いて 5 分、栗山町の名産品が並ぶ「栗夢プラザ」を拠点に、栗山の街を散歩してみるのも面白いかもかもしれません。

由仁町には、由仁、古山、三川の 3 つの駅があります。由仁駅は、ふれあい交流館「ポップ館ゆに」として、平成 18 年に生まれ変わり、現在は観光案内もしています。人気のスイーツやおいしいお店の情報を仕入れて、由仁町内の食べ歩きなんてどうでしょうか。



ポップ館ゆに



古山駅



追分駅

安平町には、追分、安平、早来、遠浅の 4 つの駅があります。室蘭線と石勝線が交わる追分駅周辺には、旧国鉄が認定した「鉄道の町、らしく、鉄道をモチーフとしたオブジェなどを見つけることができます。さらに来年の春には、道の駅「あびら」^{デゴイチ} D51 ステーション、が付近にオープン予定です。早来駅には「安平町物産館」が併設され、特産の各種チーズなどが販売されています。安平町の特別栄養賞を受賞した競走馬ディープインパクトに贈られた記念のレイも展示されていますよ。



早来駅



安平町物産館



記念のレイ

苫小牧市には、ガラス張りの近代的な駅舎が印象的な沼ノ端駅があり、千歳線と室蘭線が乗り入れる苫小牧東部地域の玄関口です。工業と港湾の印象が強い苫小牧ですが、ウトナイ湖などの自然にも恵まれ、また、ホッキ貝の水揚げ日本一の街でもあります。室蘭線でお出かけしてみませんか。



沼ノ端駅



ぷらっとみなと市場